

2025（令和7）年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1473500690	事業の開始年月日	平成18年3月1日
		指定年月日	平成18年3月2日
法人名	株式会社メディカルケアシステム		
事業所名	グループホームちいさな手横浜さかえ		
所在地	(244-0841) 横浜市栄区長沼町478-1		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名 ユニット数 2 ユニット
自己評価作成日	令和7年8月15日	評価結果 市町村受理日	令和7年12月11日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「グループホームちいさな手横浜さかえ」は緑に囲まれた可愛らしい黄色のホームが一目で印象に残る、温かみのあるホームです。その緑には四季折々の彩りを添えています。紫陽花や朝顔が咲き、秋にはイチョウの葉が黄色から紅葉へと色づき、柿の実がたわわに実ります。自然とともに過ごす、おだやかでやさしい時間が流れていきます。夏には、毎年恒例のご家族様との交流会という大イベントがあります。お食事や、ゲーム、コーヒータイムなどを通して、入居者様とご家族様が楽しいひとときを過ごされております。又、医療連携体制も整っており、訪問診療・訪問看護・訪問歯科などの各専門機関と常に連携を取りながら、ご入居者さまのお身体の状態に応じたきめ細やかな対応を行っております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和7年9月30日	評価機関 評価決定日	令和7年12月1日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

JR東海道線「戸塚」駅または「大船」駅から江ノ電バスで「長沼」下車、徒歩5分の緑豊かな住宅地です。公園や地域ケアプラザ、コンビニエンスストアなどもあり利便性に優れています。クリーム色の潇洒な2階建て、2ユニットのグループホームです。

<優れている点>

企業理念に基づく体系的な人材育成と、入居者主体の生活支援を提供しています。3L（スリーエル）の精神などの理念を基に「今年度の取り組み」として事業所の年間目標を定め、チームワークに優れた介護を目指しています。法人では定期的な5日間の研修で理念や介護の基本を学び、事業所では毎月課題を決めて研修・勉強会を実施するなど、充実した研修体制です。また、法人での初任者研修や介護福祉士資格取得のための講座を整備し、職員育成に力を注いでいます。また、事業所での過ごし方においては、入居者の主体的な選択と生活の継続を重視しています。居場所の選択は自由であり、日中は入居者が自分の意思でリビングに集い、DVDで「懐メロ」を選んで歌ったり、入居者同士で語り合ったりして過ごしています。職員は、入居者が今何を求めているか、どんな言葉掛けが必要かを察知しながら見守ることで、主体的な生活の実践を支えています。

<工夫点>

入居者の自立支援と摂食機能の維持を図るため、食事の形態に配慮すると共に、すくい出しやすい深めの器を利用しています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	12～16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	17～23
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホームちいさな手横浜さかえ
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝、申し送りの際に、理念の唱和をしております。	企業理念の共有を通じて、チームワークの強化と行動の方向性の統一を図っています。毎朝の理念唱和により、職員全員がチームとして業務に向かう意識を統一しています。理念に沿って事業所の年間目標「今年度の取り組み」を立て、職員の行動指針としています。また、海外からの技能実習生が数名在籍しており、入職時には理念の意味を具体的に説明しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	避難訓練参加、中学生の、職場体験を行いました。日ごろは、段ボールの廃品回収に段ボールを出させて頂き少しでも自治会活動に交流をと、行っております。	小学校で行われる自治会の避難訓練に参加し、避難場所の確認をしています。避難訓練や自治会の総会に参加することで、地域とのつながりを築いています。また、地元豊田中学校の生徒2名を職場体験で受け入れ、会話や体操など入居者との積極的な交流を実現しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	自治会に認知症カフェに以前参加致しましたが、今後も参加をいたしたいと思っております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議には活動内容や報告をしております。色々なご質問に改善が出来るように努めております。	運営推進会議には、地域包括支援センターや栄区役所の職員、民生委員、自治会代表が参加しています。活動状況や健康管理について報告するほか、事故・ヒヤリハットの内容とその改善策を説明しています。また、会議を通じて避難訓練の予定など、地域における重要な情報を得ています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進委員会を通じて市役所の方とお話はしております。	栄区役所高齢障害支援担当課や豊田地域包括ケアプラザの職員と、運営推進会議の中で避難訓練や避難場所について検討しています。入居者のADL（日常生活動作）を考慮した避難場所に関する情報交換や話し合いを重ね、協力関係を築いています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設け指針から勉強し、実際に拘束をしないように、日ごろから気を付けております。や無負えずしなくてはいけない例等も、参考に取り入れながら、介護者に研修を行っております。	身体拘束委員会では指針を理解し、やむを得ず身体拘束が必要となる場合も含めて事例を検討し、話し合いを実施しています。マニュアルは、職員が業務中に手に取って見られる場所に置き、何が拘束にあたるかをすぐ確認できる状態としています。また、研修を年2回以上実施し、職員の意識の深化を図っています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待委員会を設け、特にスピーチロックや、知らないところで、自然に虐待をしているかもしれませんので、つね日ごろの、介護者がストレスにも気を付けるよう声掛けは行っております。	身体拘束と同様に虐待防止指針を理解することを基本としています。虐待につながる職員のストレス状態に注視し、職員アンケートをもとに、職員がどのようにストレスを発散しているかを把握しています。特に技能実習生に対しては、言葉のストレスを考慮し、積極的に声を掛けるなど、職員が相談しやすい雰囲気作りに努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	以前、後見人のご入居者様がいらしたので、会議の際に課題として話しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時解約時等々、必ず書面にて文章を読み、納得していただいてから押印又は、サインをして頂いています。その際も一方的に話すだけでなく、質問や問題点などお聞きしご理解を頂いてから、にしております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を玄関に設置いたしておりますが、ご意見を電話にて対応していることが多いです。時折、ご家族を交えてホーム長、ケアマネ、職員とケアカンファレンスを行うことで、サービスをご理解いただいております。	家族からの要望は、電話や面会時、ケアプランの説明時に聞いています。家族を交えたケアカンファレンスでは、要望や疑問に応じて説明を実施し、グループホームの支援方針への理解を促しています。入居者の意向については、日常の会話や入居者同士の語らいの中から、丁寧に把握しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	面接や、アンケートを必ず年1回以上必ず行っております。	職員からの要望や意見は、日々の業務の中で聞き取り、できる限り受け入れています。また、入居者同士の会話から拾い上げた思いを、職員がイベントにつながる提案としてまとめ、運営に反映させています。介護に関する意見や悩みは、申し送り時に聞き取り、チームとして解決に向けた方向性を話し合っています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	アンケートを年1回以上して頂き、やりがいを得てほしいと思っております。給料の見直しに関しては本社にて行っております。	人事に関する事柄からパソコン操作に至るまで、問題が生じた場合や相談事があった場合は、即座に法人からの支援があります。管理者は、職員の業務に関する悩みや相談事に対応し、ストレスの軽減を図るなど、働きやすい職場作りに努めています。	入居者の「笑顔」が職員の働く意欲につながります。入居者が笑顔になるレクリエーションなど、モチベーションを高めるさらなる職場作りが期待されます。
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本社にて定期的に上席にて5日間の研修を行っております。救命講習や初任者研修、介護福祉士の講習会等本社にて力を入れて講習会を行っております、毎月の研修を行っております。	法人本部で実施する5日間の研修では、理念など介護の基本を学んでいます。また、法人が初任者研修の受講費用を支援し、法人本部では介護福祉士資格取得のための講習を実施しています。現在、法人の支援により技能実習生2名が、言葉の壁を乗り越えて介護福祉士の資格を取得するという成果に繋がっています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	ユマニチュード研修を積極的に行っております。その他、本部にて2か月に1回必ず会議を行い情報交換、又は研修を行っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	1番初めに内覧でご家族様より、問題点を必ずお聞きしております。ご家族様の問題点、ご本人の問題点、お体などいろいろな角度でご本人の情報をお聞きし、入居までに問題点を把握し対応できるよう心がけておりますが、入居後、ご家族様にもご協力を頂くようお願い致しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービスの利用前に内覧で心配事などお聞きし解決できるような方向づけをしております。必ず介護者にも把握してもらい、毎日申し送りで、介護者の問題点を話しております。また、メールのやり取りをご家族様とすることで、お忙しい中でも、ご連絡が出来るようにしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	介助を行う上でも、朝の申し送りの際に問題を精査し、常に同じ方向で介助できるように心がけております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	サービスの前にも、見学の段階でご家族様の気持ちを十分にお聞きして支援に努めるようにしています。ご本人の気持ちや行動に注意を払い他の方とのコミュニケーションにも配慮を促し介助しております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	お話をしたり、ご様子を必ず周りから見ても細かい配慮を一緒に生活していただくように努めております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人の意思で過ごす場所を選択して頂き、過ごされる空間が快適で安心して過ごせるよう、プライバシーに配慮した環境整備に努めております。またその日の体調を考慮して見守り、室内の温度調節をすることで、安心して入眠頂けるよう対応しております。	家族や知人の面会時には、玄関ホールにテーブルとイスを置き、団らんできる環境を整備しています。着付けの仕事をしていた入居者に浴衣の着付けをしてもらい、他の入居者や利用者と共に盆踊りを楽しむ機会を設けています。入居者同士の会話から、入居前の暮らしや趣味への思いを職員が丁寧に把握し、個別の支援に反映しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	フロアの座席には、注意をしています。初めに座られて周りの方とのコミュニケーションには気を配り、お話ししやすい環境を常に気を配っております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院されて、退去となった方でもその後どうされたか、お電話でお聞きしております。		
Ⅲ そい ○思いや意向の把握					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	できる限りではありますが、入居者様が選択できるような会話を心掛けています。困難な方については顔の表情等を読み取り思いの把握に努めております。	入居者同士の会話から生まれた浴衣での施設内盆踊りでは、浴衣を自身で選んでもらっています。また、おやつやコーヒー、紅茶などの飲み物を自身で選んでもらうなど、小さな希望を積み重ねることで、さらに自分の意思決定ができるような支援を実践しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々、入居者様との会話での把握、ご家族様からも都度聞き取りをしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の個人記録や申し送り、ケアの中での様子観察等により、現状の把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日に一度、ミーティングや話し合いを行い介護計画に反映しております。大きな変更等がある場合はご家族様や看護師と連絡を取り合い介護計画作成をしております。	入居時には、入居者、家族の意向を確認し、アセスメントを基に暫定ケアプランを作成しています。1ヶ月後にモニタリングを実施し、職員や医療関係者の意見を出し合い、本プランを作成しています。家族も参加するケアカンファレンスを実施することもあります。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	気付いた事、気になる事があればその場にいる職員間で話し合い決定事項等は記録や申し送りに記入、職員間でケアの統一に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	出来る限り柔軟な姿勢で対応を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の移動パン屋さんの利用や消防訓練への参加又、運営推進委員会会議にて地域の方々と情報の交換等を行っております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居者様や家族の希望や思いを細かくかかりつけ医に伝えております。 往診月2回第1、第3火曜日 主治医、24時間対応体制	入居者と家族の同意を得て、全員が協力医療機関の医師をかかりつけ医として、月に2回の訪問診療を受けています。週に1回は看護師が健康チェックを実施し、かかりつけ医と連携をしています。定期的な専門医の受診は基本的に家族が対応しますが、緊急時には管理者か職員が支援を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々のケアの中で気になる事があればすぐに看護師に伝えており、連携もスムーズに行っております。 看護師24時間対応、電話対応。 毎週日曜日訪問対応。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居様が入院した際看護サマリーを作成し、情報交換をしております。ご家族様や病院関係者に話を伺い退院に向けた体制づくりを行っております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族様には入居時に看取りの説明をしております。ご入居者様の状態に応じて、医師、看護師、ご家族様、職員で話し合い情報共有しております。又、職員研修も行い、実際に経験を生かしております。	終末期を安心して過ごせるよう、入居契約時に看取りの指針に基づいて家族へ説明し、同意を得ています。入居者の状況に応じ、家族、医療関係者、職員間で方針を共有し、チームで支援をしています。職員は看取りマニュアルや看取りの研修を受け、入居者と家族が安心して最期が迎えられるよう支援しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的に緊急時のマニュアルを確認、職員で話し合っております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練を実施いたしております。	年に2回夜間想定避難訓練を実施しています。近隣との協力関係を構築しており、自治会の防災訓練に参加しています。また、施設の駐車場を避難場所として確保しています。非常災害時のBCP（事業継続計画）を策定し、備蓄品3日分と防災用品をリスト化して管理をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	排泄介助、入浴着替え時等、プライバシーが守れるように気を付けております。排泄のオムツやパットの置き場所も、居室のクローゼットの中に必ず入れて、御本人のはずかしい気持ちがないように気を配っています。	職員は入職時に接遇・マナー、権利擁護・プライバシーの保護などの研修を受けています。その後も継続的に勉強会を実施し、入居者の尊厳やプライバシーを損なわない対応を実践しています。入居者との関係が深まっても馴れ合いにならないよう、最初の呼びかけは〇〇様とし、その後続く言葉が丁寧になるよう指導しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様に選択を促すことを大切に職員で決めないように、気を付けて会話をしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お話をしたり、ご様子を必ず周りから見ても細かい配慮をし一緒に生活していただくように努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝、ご本人の希望でお着換えしたり入浴前に衣類をご本人に選んでいただいています。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事形態等、食べやすいようにしています。コーヒーはドリップコーヒーを飲んでいただいたり、夏にはご希望に応じた冷たいアイスクリームなどを召し上がって頂き楽しませております。	自分で食事ができるよう、食事形態に配慮すると共に、すくいやすい深めの食器を利用しています。自主的に食器拭きの手伝いをしている入居者もいます。クリスマス会ではちらし寿司、家族交流会ではのり巻きを楽しむなど、行事食を提供しています。また、移動パン販売で好きなパンを選ぶ機会を設けています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	個々に合った食事形態や摂取量を把握し、食物アレルギーにも対応の上提供しております。体調の変化に合わせてナースとも相談し、食事形態を都度変更している。季節に沿った水分量の確保にも努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	自立してケアを行える方は見守り、自立困難な方も残存能力を活用したケアを心掛けております。訪問歯科医と連携し、口腔状態を把握の上、個々人に合うケア方法をアドバイス頂きながら実施しております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄のタイミングや排泄時に見られる特徴的な動作を事前に察知し、トイレ誘導を行っております。車椅子の方においても残存能力に合わせて自立や一部介助等、ケア方法を変えております。	トイレで排泄ができるように支援をしています。定時誘導だけでなく、入居者のしぐさや動作を見逃さないように目配りをしています。立位が困難な入居者に対しても、2人介助により排泄の自立に向けた支援をしています。重度の入居者も、可能なかぎり1日に1回は便座に座る機会を設け、排便リズムを作っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	体質に合わせて食事形態を考え、摂取時にも咀嚼の声掛けを行い消化吸収を高めるよう努めております。歩行可能な方には廊下の往復による運動量の増加を促しております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	体調や気分に合わせて支援をしている。安心して頂くため、滑り止めマットや浴槽台、浴槽ステップなど、入浴補助用具を活用しております。体質に合った洗髪剤・洗体剤を使用しております。	入居者の身体状況や気持ちに応じて、週に2回以上の入浴支援を実施しています。入浴時の個別の希望にも対応しており、少し長めに浴槽につかりたいといった個々の意向に応じ、入居者がくつろげるよう個別支援をしています。浴槽をまたげない入居者でも2人介助によって浴槽に入り、入浴を楽しめるよう工夫しています。また、本音が聞ける一対一の会話時間を大切にしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご本人の意思で過ごす場所を選択して頂き、過ごされる空間が快適で安心して過ごせるよう、プライバシーに配慮した環境整備に努めております。またその日の体調を考慮して見守り、室内の温度調節をすることで、安心して入眠頂けるよう対応しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	主治医、看護師、薬剤師の下、薬の変更や追加、体調の変化があった場合は都度情報共有しながら対応しております。特に服薬は二人以上の職員がダブルチェックで名前、日付を声に出して読み上げ、飲み込めたことを確認することで誤飲防止に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日常生活の中で出来ることを無理なくして頂きながら、自立を促しております。またどのような取組が入居者様の気分転換や楽しみへ繋がるのか職員同士で話し合い、季節に合ったレクリエーションや歌、ゲームのほかご家族を交えての交流会も実施しております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人一人のADLを考慮しつつ、個人の楽しみに合わせた外出先を選んで対応しております。また可能な限り外出介助の上、近くの公園などで季節感を感じて頂いております。長時間の外出が困難な方には、車いすにさせて頂いております。	気候の良い時には、個々の体力や好みに合わせて、近隣や近くの公園に一对一で散歩に出かけ、季節の変化に触れています。また、ウッドデッキで外気浴をする機会も設けています。家族の協力のもと、墓参りや家族との会食といった特別な外出機会を支援しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的に入居者様にはご理解を頂き、お金の所持はお断りさせて頂いておりますが、依存などがある方には、ご家族の方と相談の上、所持または施設での保管をさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	事務所より自ら電話を掛けられるように支援をしております。不安の強い入所者様には、ご家族から手紙を書いて頂き、ご本人へお渡し、お見せすることで不安感の緩和に努めております。	/	
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	庭から雨や雪の様子を見たり、花を植えて成長する様子を見られるようにしております。また、四季折々の飾り付けをすることで、居心地の良い環境づくりに努めております。換気、湿度調整、加湿等に気を配っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	一人の空間や、気の合う入居者様同士と一緒に過ごせるよう、各部屋での工夫を凝らしております。また、他階の入居者様との交流も出来るよう、支援を行っております。	/	
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具や思い出の家具、写真などを置くことによって、居心地のよさを演出出来るように努めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	出来ることはして頂き、一人で難しいことへの支援を行うことで自立を促しております。全廊下への手すりの設置、トイレ等へのナースコールの設置を行い、積極的に杖を使用出来る環境整備を行ったところ、安全に移動が可能となった入居者様もおられます。	/	

事業所名	グループホームちいさな手横浜さかえ
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝、申し送りの際に、理念の唱和をしております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	避難訓練参加、中学生の、職場体験を行いました。日ごろは、段ボールの廃品回収に段ボールを出させて頂き少しでも自治会活動に交流をと、行っております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	自治会に認知症カフェに以前参加致しましたが、今後も参加をいたしたいと思っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議には活動内容や報告をしております。色々なご質問に改善が出来るように努めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進委員会を通じて市役所の方とお話はしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設け指針から勉強し、実際に拘束をしないように、日ごろから気を付けております。や無負えずしなくてはいけない例等も、参考に取り入れながら、介護者に研修を行っております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待委員会を設け、特にスピーチロックや、知らないところで、自然に虐待をしているかもしれませんので、つね日ごろの、介護者がストレスにも気を付けるよう声掛けは行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	以前、後見人のご入居者様がいらしたので、会議の際に課題として話しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時解約時等々、必ず書面にて文章を読み、納得していただいてから押印又は、サインをして頂いています。その際も一方的に話すだけでなく、質問や問題点などお聞きしご理解を頂いてから、にしております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を玄関に設置いたしておりますが、ご意見を電話にて対応していることが多いです。時折、ご家族を交えてホーム長、ケアマネ、職員とケアカンファレンスを行うことで、サービスをご理解いただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	面接や、アンケートを必ず年1回以上必ず行っております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	アンケートを年1回以上して頂き、やりがいを得てほしいと思っております。給料の見直しに関しては本社にて行っております。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本社にて定期的に上席にて5日間の研修を行っております。救命講習や初任者研修、介護福祉士の講習会等本社にて力を入れて講習会を行っております、毎月の研修を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	ユマニチュード研修を積極的に行っております。その他、本部にて2か月に1回必ず会議を行い情報交換、又は研修を行っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	1番初めに内覧でご家族様より、問題点を必ずお聞きしております。ご家族様の問題点、ご本人の問題点、お体などいろいろな角度でご本人の情報をお聞きし、入居までに問題点を把握し対応できるよう心がけておりますが、入居後、ご家族様にもご協力を頂くようお願い致しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービスの利用前に内覧で心配事などお聞きし解決できるような方向づけをしております。必ず介護者にも把握してもらい、毎日申し送りで、介護者の問題点を話しております。また、メールのやり取りをご家族様とすることで、お忙しい中でも、ご連絡が出来るようにしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	介助を行う上でも、朝の申し送りの際に問題を精査し、常に同じ方向で介助できるように心がけております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	サービスの前にも、見学の段階でご家族様の気持ちを十分にお聞きして支援に努めるようにしています。ご本人の気持ちや行動に注意を払い他の方とのコミュニケーションにも配慮を促し介助しております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	お話をしたり、ご様子を必ず周りから見て細かい配慮をし一緒に生活していただくように努めております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人の意思で過ごす場所を選択して頂き、過ごされる空間が快適で安心して過ごせるよう、プライバシーに配慮した環境整備に努めております。またその日の体調を考慮して見守り、室内の温度調節をすることで、安心して入眠頂けるよう対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	フロアの座席には、注意をしています。初めに座られて周りの方とのコミュニケーションには気を配り、お話ししやすい環境を常に気を配っております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	入院されて、退去となった方でもその後どうされたか、お電話でお聞きしております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	できる限りではありますが、入居者様が選択できるような会話を心掛けています。困難な方については顔の表情等を読み取り思いの把握に努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日々、入居者様との会話での把握、ご家族様からも都度聞き取りをしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の個人記録や申し送り、ケアの中での様子観察等により、現状の把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日に一度、ミーティングや話し合いを行い介護計画に反映しております。大きな変更等がある場合はご家族様や看護師と連絡を取り合い介護計画作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	気付いた事、気になる事があればその場にいる職員間で話し合い決定事項等は記録や申し送りに記入、職員間でケアの統一に努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	出来る限り柔軟な姿勢で対応を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の移動パン屋さんの利用や消防訓練への参加又、運営推進委員会会議にて地域の方々と情報の交換等を行っております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居者様や家族の希望や思いを細かくかかりつけ医の伝えております。 往診月2回第1、第3火曜日 主治医、24時間対応体制		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々のケアの中で気になる事があればすぐに看護師に伝えており、連携もスムーズに行っております。 看護師24時間対応、電話対応。 毎週日曜日訪問対応。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居様が入院した際看護サマリーを作成し、情報交換をしております。ご家族様や病院関係者に話を伺い退院に向けた体制づくりを行っております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族様には入居時に看取りの説明をしております。ご入居者様の状態に応じて、医師、看護師、ご家族様、職員で話し合い情報共有しております。 又、職員研修も行い、実際に経験を生かしております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	定期的に緊急時のマニュアルを確認、職員で話し合っております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練を実施いたしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	サービスの利用前に内覧で心配事などお聞きし解決できるような方向づけをしております。必ず介護者にも把握してもらい、毎日申し送りで、介護者の問題点を話しております。また、メールのやり取りをご家族様とすることで、お忙しい中でも、ご連絡が出来るようにしております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	サービスの前にも、見学の段階でご家族様の気持ちを十分にお聞きして支援に努めるようにしています。ご本人の気持ちや行動に注意を払い他の方とのコミュニケーションにも配慮を促し介助しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	お話をしたり、ご様子を必ず周りから見ても細かい配慮を一緒に生活していただくように努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝、ご本人の希望でお着換えしたり入浴前に衣類をご本人に選んでいただいております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事形態等、食べやすいようにしています。コーヒーはドリップコーヒーを飲んでいただいたり、夏にはご希望に応じた冷たいアイスクリームなどを召し上がって頂き楽しませております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	個々に合った食事形態や摂取量を把握し、食物アレルギーにも対応の上提供しております。体調の変化に合わせてナースとも相談し、食事形態を都度変更している。季節に沿った水分量の確保にも努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	自立してケアを行える方は見守り、自立困難な方も残存能力を活用したケアを心掛けております。訪問歯科医と連携し、口腔状態を把握の上、個々人に合うケア方法をアドバイス頂きながら実施しております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄のタイミングや排泄時に見られる特徴的な動作を事前に察知し、トイレ誘導を行っております。車椅子の方においても残存能力に合わせて自立や一部介助等、ケア方法を変えております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	体質に合わせて食事形態を考え、摂取時にも咀嚼の声掛けを行い消化吸収を高めるよう努めております。歩行可能な方には廊下の往復による運動量の増加を促しております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	体調や気分に合わせて支援をしている。安心して頂くため、滑り止めマットや浴槽台、浴槽ステップなど、入浴補助用具を活用しております。体質に合った洗髪剤・洗体剤を使用しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	ご本人の意思で過ごす場所を選択して頂き、過ごされる空間が快適で安心して過ごせるよう、プライバシーに配慮した環境整備に努めております。またその日の体調を考慮して見守り、室内の温度調節をすることで、安心して入眠頂けるよう対応しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	主治医、看護師、薬剤師の下、薬の変更や追加、体調の変化があった場合は都度情報共有しながら対応しております。特に服薬は二人以上の職員がダブルチェックで名前、日付を声に出して読み上げ、飲み込めたことを確認することで誤飲防止に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	日常生活の中で出来ることを無理なくして頂きながら、自立を促しております。またどのような取組が入居者様の気分転換や楽しみへ繋がるのか職員同士で話し合い、季節に合ったレクリエーションや歌、ゲームのほかご家族を交えての交流会も実施しております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人一人のADLを考慮しつつ、個人の楽しみに合わせた外出先を選んで対応しております。また可能な限り外出介助の上、近くの公園などで季節感を感じて頂いております。長時間の外出が困難な方には、車いすにさせて頂いております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的に入居者様にはご理解を頂き、お金の所持はお断りさせて頂いておりますが、依存などがある方には、ご家族の方と相談の上、所持または施設での保管をさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	事務所より自ら電話を掛けられるように支援をしております。不安の強い入所者様には、ご家族から手紙を書いて頂き、ご本人へお渡し、お見せすることで不安感の緩和に努めております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	庭から雨や雪の様子を見たり、花を植えて成長する様子を見られるようにしております。また、四季折々の飾り付けをすることで、居心地の良い環境づくりに努めております。換気、湿度調整、加湿等に気を配っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	一人の空間や、気の合う入居者様同士と一緒に過ごせるよう、各部屋での工夫を凝らしております。また、他階の入居者様との交流も出来るよう、支援を行っております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具や思い出の家具、写真などを置くことによって、居心地のよさを演出出来るように努めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	出来ることはして頂き、一人で難しいことへの支援を行うことで自立を促しております。全廊下への手すりの設置、トイレ等へのナースコールの設置を行い、積極的に杖を使用出来る環境整備を行ったところ、安全に移動が可能となった入居者様もおられます。		

2025年度

グループホームちいさな手 横浜さかえ
作成日： R 7 年 12 月 8 日

78

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進委員会を通じて避難訓練やボランティア活動のかたを紹介して頂きたい。	地域に密着した、ホームにしたい。避難訓練は参加しているがレクリエーションの紹介をして頂く用凍絵掛けを行いたい	ボランティアの方でレクリエーションを行っている方の紹介をして頂き地域の方とホームの方と地域の連携を図る	6ヶ月
2	34	急変や事故発生し迅速な対応をする	ホームのマニュアルに沿った対応がいざとなると出来ないことがある為、日頃より対応出来るようにする。	1人1人自分のマニュアル作成をすることで、すぐに対応することが出来る。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月